

# 航 跡

第44号

2012年2月発行

## 会長挨拶

S.44年卒 伊藤 宏



昨年の総会で、並木前会長から会長職を引き継ぎました昭和44年卒の伊藤宏です。歴代の会長の方々とは比べ、まだまだ未熟ではありますが、皆様のご指導・ご支援・ご協力を得て職責を果たしてまいっている所存ですので、よろしく願い申し上げます。

さて、学生は、ここ数年安定した力を発揮できるようになり、常に優勝争いのできるヨット部になりました。これもひとえに学生の指導に当たられてこられました監督・コーチをはじめとする会員各位の支援の賜物と御礼申し上げます。昨年の全日本インカレでは惜しくも優勝を逃しましたが、学生達は、本年秋のレースに備え、既に準備を開始しております。当クラブでは、従来通りこれら学生の活動を全面的にサポートしていく所存です。レース艇や救助艇の更新なども計画的に進めていかねばならず、引き続き会員各位には絶大なご支援をお願い申し上げます。

一方、会員相互の交流につきましては、4大学OB戦、10大学OB戦、東京六大学OB戦や早慶OB戦などを通じて、他の大学OBとの交流を図ってまいりましたが、本年もこれらの交流レースに参加する予定です。

「久しぶりに乗ってみようかな。」「たまには皆と一杯やりたいな。」とお思いの方は、ぜひご参加いただきたいと思います。詳細はホームページでご紹介いたしますが、事務局にご連絡いただければ個別にご案内させていただきます。また、会員の皆様は、プライベートのクルージングや子供たちのヨット教室など様々なヨットライフをエンジョイされていることと思いますが、「仲間を増やしたい。」「手伝いがほしい。」などご要望があれば、クラブとしても可能な範囲でお手伝いさせていただきます。

ここ数年、常に経済的な問題に頭を悩ましてまいりましたが、一人でも多くの会員のご協力を得て、学生への支援体制をより強化していくとともに、楽しいクラブ造りを目指してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 監督挨拶 -2011年を振り返って

H.6年卒 畠山 知己



日頃より、部へのご支援をいただきありがとうございます。

2011年度は、インカレ総合優勝4連覇という期待に応えられず、とても残念でした。しかし、部員全員ならびにOBの皆様も過去に経験したことのない緊張感を持った1年だったことと私自身含め感じました。このような経験をさせていただき感謝しております。

2011年はある意味で、ヨット部自身そして個人的にも自然界から試されたのではないかと。そんな空想的な思いもあります。ここからいかに潮気をもって立ち上がるかがヨット部の試練になるのではないのでしょうか。2012年度は監督在任8年目の節目にあたります。もう一度インカレ優勝をし、末広がりの結果をもって次につなぐ覚悟で臨みます。

また、この他の監督業務としては入部式、コーチサミット(年2回・関口コーチも同席)、運動部納会、運動部謝恩会、早慶戦優勝部総長招待祝賀会に出席した事をご報告させていただきます。

## 第76回全日本学生ヨット選手権 総括レポート

ヘッドコーチ H.18年卒 関口 功志



2011年11月3-6日に江ノ島沖にて開催され、両クラス6Rが実施された。早稲田は総合4連覇、スナイブ級3連覇をかけて挑んだが、総合3位、470級3位、スナイブ級2位に終わった。無風の初日の後、2日目の3レースでの3艇の失格により、総合首位と220点差の5位と出遅れた。3日目の2レースを終えても首位との差は詰められず、厳しい戦いとなった。最終日は1レースのみだったが、全艇が素晴らしい走りを見せ、28点差まで詰め寄るも逆転には至らなかった。連覇こそ途絶えたが、明確な戦略を持ち、全員が最後まで優勝を目指して戦い抜いたこと、そして四連覇の重圧に耐えて挑戦した本年の取り組みは誇るべきだ。一方、敗因を紐解くと、そこにあるのは基礎的な技術の不足だ。勝ち続けるうちに勝つことの難しさの実感や相互研鑽の厳しさが薄れつつあったのも事実である。再び理想の王座に就くためにも、この悔しさを忘れずに血の滲む努力をしていくことが求められる。

## 新旧主将挨拶

## H.23年度主将 横田 敏一



早稲田大学ヨット部前主将を務めました横田敏一です。2011年は、早稲田大学ヨット部においても日本にとっても大変な年になりました。全日本インカレ4連覇を目指し、チーム全員で努力してきましたが、その目標を達成することができず、非常に悔しい想いです。しかし、この悔しさを知った次の代が必ず王者を奪還してくれるものと信じています。残念ながら私含め卒業してしまう4年生は、プレイヤーとしてもう一度戦うことはできませんが、今後は支援という形で部に貢献していきます。今年も早稲田大学ヨット部の変わらないスタイルである「チーム全員で勝つ」ことをこれからも貫き常勝早稲田を築いていってほしいと願います。これまでご指導・ご支援して下さった監督・コーチはじめOB・OGの方々、本当にありがとうございました。また、これからも変わらぬご声援のほどよろしくお願ひします。

## 新旧主将挨拶

## H.24年度主将 市川 航平



本年度、早稲田大学体育会ヨット部主将を務めます市川航平と申します。日頃よりご支援いただき誠にありがとうございます。部員を代表して、ここに深く御礼申し上げます。さて、2011年度の全日本インカレから早3カ月、早稲田大学ヨット部は新上期6名の新体制のもと、全日本王座の奪還に向け新たに動き出しております。レギュラーの大多数を占めていた1期上の先輩方の引退に伴い、今年1年は早稲田大学ヨット部が日本一に返り咲くための厳しい試練の1年となることが予想されますが、この逆境を糧に部員一同想いをひとつに、発展と成長、革新の面で昇華出来ればと思います。昨年28点差で優勝を逃がした悔しさ、ヨット部の先輩方の想いを胸に秘め、必ずや琵琶湖の地にて表彰台の頂点に臙脂の校旗を高らかに掲げたいと思います！諸先輩方や御父兄、関係者の方々にはご迷惑をおかけすることがあるとは思いますが、全日本インカレ総合優勝の奪還に向け、日々全力で精進していく所存でありますので、引き続きのご支援、ご指導のほどよろしくお願ひします。拙い文章ではございますが、これにて御挨拶と代えさせていただきます。

## 大学ヨット実技を振り返って

## S. 48年卒 平戸 雅幸

先ずはじめに、多くの前任講師の方々や先輩、OBに支えられ、6年間の実技講師を終えて引き継ぐことが出来たことに対し感謝する次第であります。

また、実技を実際に支えてくれた歴代のヨット部員諸氏にも感謝申し上げます。

私がヨット実技に初めて関わったのは2000年に実技を応援したときでした。それまで長い間、大学実技は千葉岩井浜を教場として行われてきましたが、部員も少なくなるなか、波や風の強いときには砂浜から出艇させることは困難を極め、実技生も減少傾向にあったようです。2001年に石合講師の英断で専用のマリナー施設と宿泊設備をもつ佐島マリナーに教場を代えたことで実技生も大幅に増え、2004年までは前半と後半の2クラスで夫々5泊6日の合宿形式で行われました。ディンギー10艇、レスキュー艇、大型艇「稲魂」に加えてOB所有大型艇の協力もあり全員が安全に海に出られる規模で行われました。2005年の松下講師の時に1クラスとなり、講師を引き継いで2009年まで佐島マリナーにて1クラス5泊6日の合宿形式で実施されました。一方、大学では体育局の廃止と新たにオープン教育センターの下に競技スポーツセンターが置かれるなど大きな変革がありました。

また、大学体育科目の位置づけが大きく変わり、必修科目から選択科目への移行に続き1単位化になり、伴い大学の実技予算も大幅に規模縮小せざるを得なくなりました。

2009年に、大学からシーズン実技の授業形態見直しを迫られました。例えば大型艇を必要としない規模まで縮小してはとの意見もあったようです。早稲田大学がこれまでヨット実技を幅広く捉え、小型艇だけでなく大型艇を保有してきたことは、大型艇が乗員のチームワーク訓練、航海術等の海技技術全般の習得の場であるからで大型艇の無いヨット実技は考えられませんし、譲れないところです。

結果、2010年より大学ヨット部艇庫のある八景島マリナーに教場を代え日帰り形式4日間で実施することにいたしました。

2回目となる2011年は震災の影響で実技生がやや減少しましたが、ほぼ定着しつつあります。

この六年間の実技講師期間をふりかえって感ずることは、大学との予算面など折衝過程で難しいことも多々ありましたが、実技を無事に終了し実技生が楽しんで満足してくれたときは部員達と共に喜び分かち、講師を引き継いで本当に良かったと思ひました。

今後も、伝統ある早稲田大学ヨット実技が継続発展し、ヨット経験者を一人でも多く輩出していくことを願っています。

2010年8月5日－8日 ヨット実技  
八景島マリナーにて





## 大学ヨット実技講師として

S. 55年卒 坂爪 高一



今年から平戸さんの後任として、ヨット実技の講師を担当することになりました。半世紀以上にわたりディンギーとクルーザーを使った長い歴史と伝統のある授業ですので、後任としてとても身の引き締まる思いです。

昨年は残念ながら東日本大震災の影響から、受講者数が減少しました。また社会的にもマリンスポーツの安全管理について、あらためて見直しが求められた年でもありました。このような背景をふまえ、これからのヨット実技は安全管理の一層の充実を図ると共に、是非とも受講者数を増やし、海とヨットのすばらしさを少しでも多くの受講生に体験してもらえる環境を整備していくことが、私の重要な課題と考えています。

今年は大学と協議の上で、数名のOBの方にTA(アシスタントティーチャー)として授業をサポートして戴き、安全面と授業内容の一層の充実を図りたいと計画しています。稲魂の整備や回航をお願いするOBの方々、ヨット実技を支えてもらう部員の皆さん並びに関係者の方々、どうぞご理解とご支援をお願い致します。

## 【稲魂】活動報告

S.46年卒 原田 浩二



平成23年度の稲魂は体育実技運航、通常運航、ボランティア運航を合計して合計58日間(前年:60日間)、延べ乗艇者573名(前年:543名)の活動を無事に行う事が出来ました。

3月11日に起きた震災で江の島にも約2mの津波が襲いましたが、干潮時のため事なきを得ました。インカレ等の応援には活発に運航し全日本インカレは江の島で実施されたことにより学生諸君の雄姿を大勢の仲間と眺めることが出来ました。

本年も神奈川県鎌倉養護学校や地元片瀬小学校児童、藤沢稲門会などの体験乗艇ボランティアや湘南遠泳大会、クリスマスイルミネーションなどの地元行事に積極的に参加しました。この他に夏場を中心とする江の島、葉山でのレースシーズンには学生が稲魂を宿舍に利用しました。

例年実施されている学生クルージングは震災の影響を受け、学生の練習不足の判断から本年は中止としました。昨年に比べて運航日数、乗艇人数とも、ほぼ同様の活動は出来ました。今後内田(H18卒)、作本(H22卒)などを中心とし、若手OBによるさらなる活躍を期待します。



## 【地方だより】石橋さん近況報告

H. 7年卒 石橋 顕



早稲田ヨットクラブのみなさん、大変ご無沙汰しております。H8年卒の石橋です。

4年前の北京オリンピックでは多大なるご支援ご協力ありがとうございました。

この場を借りて改めてお礼申し上げます。

さて近況報告ですが、これまで10年間の選手生活のつけ(?)を取り戻すべく、地元福岡にてバリバリ仕事に励んでおります。ヨットからは丸3年全く離れていましたが少しずつ海に戻り始め、昨年J24、X35の全日本選手権、福岡でのクラブレース等に参加しました。

久しぶりの海で久しぶりに会うヨット仲間と過ごす時間はやっぱり楽しく居心地がいいものですね。人それぞれヨットとの関わり方はあるのかもしれませんが、僕自身ヨットとの関わり方は4年前までと全く逆転しています。

24時間365日レースで勝つ事しか考えていなかった生活から一転し、今ではどう勝つかよりもどう楽しもうか、その時間をどう作るかへと変わっています。

一方、北京の時のパートナーはまだ現役で頑張っており5月にはロンドンオリンピックの代表になると期待しています。

オリンピックや世界選手権などの映像や記事を見ると自分の気持ちが熱くなるのが分かるので、自分の心に火が付きすぎない(?)程度に、今年のロンドンでのチームジャパンを応援したいと思ってます。今年もキールポート中心に積極的に乗っていきたいと思ってますので、みなさんとどこかの海でお会いできるのを楽しみにしています。

以上近況報告でした。

## 情報源！ ヨット関連Web Site

<http://www.wasedayacht.org/>

早稲田ヨットクラブHP  
Members Room のIDは wasedayacht  
パスワードは toukon

<http://www.wasedayacht.net/>

早稲田大学ヨット部HP

<http://waseda-sports.jp/>

早稲田大学競技スポーツセンター

<http://kantogakurenyacht.jimdo.com/>

関東学生ヨット連盟

<http://bulkhead.sblo.jp/>

バルクヘッドマガジン: インカレのレース速報や、海外で活躍するOBの戦績など、タイムリーなニュースで一杯です。

他にもコレ！というサイトがありましたらご紹介をお願いします。

次回、現役レーサーとして活躍するWYCメンバーの特集をしたいので、クラブチームやディンギーのフリートで活躍するメンバーのサイトを教えてください。宜しくお願いします。(編集部:平成元年卒 川原ykaaawaa@gmail.com)

## OBヨットレース日程

編集部

本年も、下記の日程でOBヨットレースを計画しております。奮ってご参加ください。

10大学OB戦(諏訪湖)	6/9,10	幹事:42年佐々木さん	hj8ksasaki@shore.ocn.ne.jp
4大学OB戦(琵琶湖)	日程調整中	幹事:48年平戸さん	masayuki.hirato@nifty.ne.jp
早慶OB戦(葉山)	9/22	幹事:50年青木さん	monsoon@vesta.ocn.ne.jp
6大学OB戦(葉山)	日程調整中	幹事:48年平戸さん	masayuki.hirato@nifty.ne.jp

## 会費を払おう

編集部

当たり前の話ですが、早稲田ヨットクラブは、皆様の会費で運営されています。学生への援助も、この「航跡」の発行も、みなこの会費で成り立っています。まずは、会費の納入をお願い致します。尚、満70歳以上の方は会費の納入義務はありません。ご寄付を頂ければそれは大変有り難く、宜しくお願い申し上げます。

一般会員	2万円 (但し卒業後8年間は1万円)
学生会員	5千円 (ヨット部卒業後修学中の方、および大学院生)

振込先

三菱東京UFJ銀行 堀留支店 普通 4506524 ワセダヨットクラブジムキョク  
みずほ銀行 日本橋支店 普通 1445739 ワセダヨットクラブ